**アンケートピックアップ**

**7月17日　ガイアックス株式会社 代表執行役社長　　上田　祐司　氏**

**問１ 学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

決してパワーポイントに頼らず、トークや身振り手振りで聴衆を引き付けていて、まるでTEDTALKSを見ているようだった。ベンチャーの起業の話の時には、何度も私達に質問を投げかけていてリアルに体験しているようだった。資本主義の問題点の解決までもビジョンに含んでいたのは驚いた。「人と人とをつなぐ」というビジョンはそこまで感動しなかったが、化学薬品の話や戦争の話を聞いた後の「赤の他人と赤の他人がつながればもっと良い社会になる」という言葉を聞いた時にビジョンの真の意味を理解した気がして感動した。(経済学部　1年)

起業されてから、どう周囲を巻き込んで事業を進めていくかというプロセスのお話がとても印象に残りました。資金を集めてから起業する必要はない、ということや、その資金を集める時間があれば、周囲を巻き込んでナン億円か集めるすべを身につけたほうがいいというお話は、今までの私の中にない考え方だったので、とても刺激になりました。また、ビジネスがもし失敗して周囲に迷惑をかける可能性があるという恐怖を乗り越えていくのは、そのビジネスがなぜ社会に必要とされているのかということを考えて、社会の役に立ちたいという思いだ、というお話も印象的でした。（理工　機械材料海洋系　２年)

失敗についての考え方が２つの点で変わった。まず、起業含め何かに挑戦することのリスクは想像よりも大きくないこと。もう１点は失敗はただの負の要素の塊ではないということ。失敗をした時、その過程で得るものが必ずあり、その後の糧になるということがわかった。（もはや失敗とは呼べないかもしれない）そうした変化とともにますます早期の行動の必要性を感じられた。というのも喜びも怖さも知らなければ前者への想像は縮まり、後者への想像は膨らんでいく一方なのだろうから。（経営学部　1年）

他の講師の方々のお話では起業までの経緯やどのような活動をしているかについてのお話が多かったが、今回の講演では資金繰りのテクニック、そのリスクなど実地的な話が多く、とてもためになった。しかし、私が気になったのは、シェアライドシステムや、無料でご飯を食べるシステムについて話されていたが、近ごろ民泊などで問題になっているように、専門の企業の企業努力によって成り立っていたシステムが、ベンチャー企業によって民間に流れ、低いレベル、違法な運営が行われていることは個人的には受け入れがたいので同意できなかった。（経営学部　1年）

今の資本主義に対して、考えが面白いなと思いました。確かに今の世の中には物があふれていて、結局その中の需要のなかった物は廃棄という本当に非効率なことをしているなと感じました。また、キャンピングカーの話もその時は貸さなかったキャンピングカーも、もしその助けを求めていたのが友達だったらキャンピングカーは貸されていたと思うので、もっと多くの人が情報を自分ごととして得て、他人同士が繁り、効率的な世の中になってほしいと思いました。（経営学部　1年）

今までの起業家さんたちよりも奇抜だけど、魅力的で必要な発想を教えていただけた気がします。人生を戦略的に生きる人の話をいくつか聴いて、戦略的に生きることは利益にもつながるし、人への貢献の面でも良い効果を生み出せると思いました。資本主義社会の構造にとらわれていたと気づき、全く違う革新的なアイデア、未来予知能力が必要だと思いました。金銭関係のない、ソーシャルオープンな世の中は私も訪れると思いました。面白い時代だと思います。質疑応答でのSNSによる見られ・記録される世の中は怖いが安心とも捉えられるのが印象深く、オープンな時代の到来と信頼の関係など考えてみようと思いました。（経営学部　1年）

ベンチャーの電撃戦体質が実感できる体験談でした。マスコミ、投資家、人員採用などで一気に材料を集められるようにブラフに近い交渉を乗り切る話など、楽し気な話もありながら、失敗の恐ろしさを体感させるエピソードにも信念の大切さが伝わり、起業に対する考え方を改めました。（経営学部　1年）

シェアリングエコノミーの話を聞いて、とても衝撃を受けました。現代の社会はSNSが普及し、世界とより緊密に繋がれるようになったと言われていますが、その実内容のある繋がりが出来ていなかったのだなと思いました。資本主義に染まってしまった世界の中で、さらに自分も資本主義経済の中で育ってきた上で、それはおかしいと主張できるのは素晴らしいことだと思いました。我々はメディアに操作されているなどといったことは学校でも習うくらい一般的に知られていることですが、それを日常生活で実感することはあまりないです。革新、変化を起こすためには疑問を持つことが大前提となるので、私もおかしいと思ったら何故おかしいんだろう、何故こうなったのだろうという所まで考えを至らせるようにしたいです。(経営学部　経営学科　1年)

起業しても過半数の人が失敗するということに驚きました。お金のことよりも自分の起業に関わった人を巻き込んでしまうのが一番怖いという考えはとてもよくわかりました。それでも成し遂げなければならないことや解決しなければいけない問題があってそれに取り組む意欲は自分にはないと思ってしまいました。様々な人の経験を聞けて楽しかったです。シェアリングエコノミーによって赤の他人の立場に立って感情移入することで思いやりが生まれる社会が本当にできたらいいなと思います。製造者とお客が繋がっていけばもっと良い製品が社会に出回ることを願っています。自分ができると思えるか自分に関係があると思えるかで社会に出た時の行動の仕方が変わってくるという言葉が心に残りました。（経営学部　1年）

最初に紹介された、起業目標がある人材しか採用しない会社の話についてとても面白いと感じました。たしかに、やる気があってガンガン次の行程へと向かっていこうという意識のある人のほうが雇っていて効率が良いのだろうなと、アルバイトをしていても思います。「ネットいじめ」の話では、たしかにそれを対応する役所や施設がないといいますが、これに着目し活動して行くのはすごいと思いました。知り合いの校長とつながっていき最終的にはとても大規模で活動していてものすごい行動力だなと思いました。学生のうちにできることはやっておこうと思いました。(理工学部　電子情報系学科　1年)

**問２ 今後のアクションにつなげていきたいこと**

とてつもなく当たり前であるのに、人々が気づいているようで気づいていない、気づいていないふりをしている事実を改めて声を大にして語り掛けていただいて痛快でした。日頃、ニュースや新聞で見て得た情報に対して自分が感じていたことを上田さんが代弁していただけた気がして、自分の思っていたことは間違っていなかったのだと確認もでき嬉しかったです。自分は将来メディア関係の仕事に就きたいと考えており、情報（社会問題？）を提起する側に立つからこそ「社会問題を感じる人になる」というのを第一に考えていきたいと思いました。（経営学部　1年）

将来どんな人になりたいのかという主体的な視点と、いま日本、あるいは世界では何が求められているのかという客観的な視点という２つの視点から物事を考えていきたいです。（経営学部　１年）

社会を知る - 様々なアルバイトを経験する。

一気にいく - テスト勉強は1週間前から始めて一気に仕上げようと思った。

いかに規模を大きくするか- サークルの広報をする際は市役所にいる新聞担当の人に直接交渉しようと思う。(理工学部　電子情報EP　1年)

**授業スタッフの感想**

今回の講義は今まで受けてきたどの講義とも違っていて、90分間ずっと頭を働かせていた。だが自分の中でうまく消化できていないのでもう一度整理する必要があると思った。特にシェアリングエコノミーに関するお話はこれまであまり聞く機会がなかったので勉強になった。同時に上田さんがどれだけ社会やビジネスのことを勉強なさっているのかも分かったので、自分も夏休みにいろんな本を読んで知識を養いたいと思う。いよいよ来週でこの講義は最後になるが、気を抜かずにお話を聴いてどんどん吸収して自分のものにしていきたいと思う。

 集める金額が自分に扱えるかどうか考えるのは失礼だ、どれだけ資金が集まったらこの事業は成功するのかを考えて資金を集めなければ社会の役にたつものは作れないという言葉が衝撃的でした。私は｢私なんか出来る気がしない｣と思うことがよくあるのですが、それは周りに失礼な態度を取ってる時もあったのではないのかなと感じました。 はったりと事実の違いが分からなくなると話していたことは、物事を一気に進めるパワーが無いと成し遂げられないと思います。やる時はドンッと周りを動かす熱量をもてる人間になりたいです。

今回の講義は非常に面白かったです。抑揚のある話し方で惹きつけられました。ビジネスの成功の裏には、自分を信じてくれた周りの人を裏切ってしまう結果になる可能性の怖さという面もあることが聞けました。やはりどのような社長さんでも怖さもあるのだと安心した部分もあります。また、現代社会に対して疑問をもち、解決策を考え、自ら行動する決断力に感激しました。被災地にキャンピングカーを集めるなど、シェアリングエコノミーはあらゆる可能性を秘めていることを垣間見ました。自分にはできるという強い思い、それは行動すれば何らかの形になるような原動力を与えてくれるのだと感じました。